

ACCESS INFORMATION



移住・定住のお問合せはこちら



移住定住支援センター

〒979-1308
福島県双葉郡大熊町大字下野上字清水307番地1

TEL.0240-23-7101
FAX.0240-23-7139

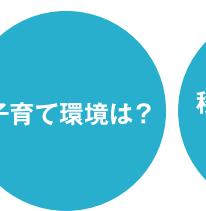
こんな相談ができます お気軽にご相談ください



住む場所は
どんなところ?



ゼロカーボンの
町ってなに?



子育て環境は?



移住の補助金は
あるの?



大熊町役場 生活支援課

〒979-1306

福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717番地

TEL.0240-23-7456
FAX.0240-23-7846



移住定住特設サイト



このまちの、
暮らしと

GUIDEBOOK FOR LIVING IN OKUMA TOWN
移住ガイドブック

あなたとつくる 未来のふるさと

大熊町



このまちの
アトリエ



OKUMA with YOU

これからの大熊町を あなたと

大熊町は、果物の栽培が盛んで“フルーツの香り漂うロマンの里”というキャッチフレーズがぴったりの町でしたが、2011年3月に発生した東日本大震災および原子力災害により、全町避難を経験しました。しかし、2019年には一部避難指示が解除され、2022年には町の中心地区の避難指示も解除されるなど、今まさに、大きな転換期を迎えています。これから未来へ向けて歩みを進めていく第一歩として、ゼロカーボン宣言をし、環境にやさしいまちづくりに取り組むことにしました。災害を経験した町だからこそ、真剣な取り組みです。

これから更に賑わいのある、新たな大熊町の未来をつくるためには、町民や移住する方など多くの方の「知恵と力」が必要不可欠です。そのための様々な取り組みが始まっています。一歩一歩前進していく大熊町で、ともに新しい生活を始めてみませんか？



基本情報

気候

夏は海からの風が涼しく、冬は積雪が少ない、温暖な気候です。

特産品

最先端技術で栽培される「いちご」と町内産酒米を使用した日本酒「帰忘郷」がおすすめです。

位置

福島県浜通り中央部に位置し、東は海、西は山に面した町です。富岡町・双葉町・浪江町に隣接し、アクセスも良好(P3参照)。

放射線量

町内全域のモニタリング検査を実施しています。



TO THE FUTURE

未来への取り組み

大熊町では新たな未来づくりを目指し、生活環境の充実を図るための施策を展開しています。町の活性化に加え、より多くの人が安心して暮らせるまちづくりを進めています。

2023年度
完成予定



学び舎ゆめの森

常磐道からその外観を見る事ができる、3層に積み重なったウェディングケーキのような、日本のどこにもない、学校らしからぬ外観の建物。それがゆめの森の校舎です。大熊町の未来を切り拓く、新しい町のシンボルとして2023年に誕生します。

認定こども園、義務教育学校、預かり・学童保育を一体にした、0歳～15歳までの幅広い年齢層が一同に過ごすことのできる町立の施設です。

子どもたちの教育だけでなく、その子どもたちの保護者である大人も、安心して子育てと仕事の両立ができる環境を整えます。

おおくまが目指す未来の教室

ゆめの森の教育は、実社会での問題発見・解決ができるよう、各教科での学習を強化し、横断的な学びを推進します。

目的達成のため温故創新の理念のもと、「混在と多様性」「デジタルとアナログ」をキーワードに、教科の個別最適化(デジタル)・探求のSTEAM[®]化(アナログ)の循環的な学びと、SDGsの目標17項目の具現を図るために、本町の総合的な学習の時間の総称である「未来デザインの時間」学習に注力します。

*STEAMは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(芸術・デザイン)、Mathematics(数学)の頭文字からなる言葉です。

学び舎ゆめの森の詳細は
右記QRコードより
WEBページをご覗ください



2022年4月
オープン



2024年度
オープン



インキュベーションセンター

大熊町ならではの新たな産業づくりや未来を担う若手起業家などを育てる場所づくりを目的に、令和4年4月に町立大野小学校の校舎を改修しインキュベーションセンターを開所しました。当日でも貸出可能なコワーキングスペース等が設置され、町民と入居者が交流できるスペースも整備されます。地域課題を解決する産業や次世代のサービス・製品の開発に取り組む企業等を呼び込み、育て、住みやすく働きやすい魅力ある町の実現と、大熊町でしかできない産業の創出を目指しています。

駅前開発

震災前、JR常磐線大野駅周辺は数多くの商店が立ち並ぶ、町の賑わいの中心地でした。2020年3月に震災から約9年ぶりに大野駅の営業が再開され、2022年春には周辺の避難指示解除、2024年度には様々な企業が入居する産業交流施設がオープンします。その他、商業店舗や文化関連施設などの整備計画も進められており、町の顔として魅力ある機能を集結させた賑わいの中心地として再開発します。

OKUMA LIFE MAP

暮らしマップ

大熊町には生活するうえで必要となる環境が整っています。運動スタジオやキッズスペース、日帰り入浴など日常生活を豊かにする施設も盛りだくさん。近隣町へのアクセスも良く、毎日の暮らしに彩りを添えてくれます。

東京から車で約3時間
仙台から車で約1時間半
郡山から車で約1時間半
いわきから車で約1時間

無料 生活循環バス情報

大熊町と富岡町の各町内を循環する生活循環バスを運行中です。ゼロカーボンを目指す取り組みの一環として、2021年4月から電気バスも導入しています。どなたでも利用できる年中無休のサービスです。

近隣町の施設紹介

- A 道の駅なみえ
- B イオン浪江店
- C 東日本大震災・原子力災害伝承館
- D ふたば医療センター附属病院 ※24時間対応
- E さくらモールとみおか ※スーパー、ドラッグストア、ホームセンター
- F 富岡中央病院
- G ならはスカイアリーナ ならはSICO
- H ここなら笑店街
- I 天神岬スポーツ公園
- J Jヴィレッジ
- K 木戸駅
- L 竜田駅
- M 夜ノ森駅
- N 常磐富岡IC
- O 大熊IC
- P 双葉駅
- Q 浪江駅
- R 浪江IC
- S 常磐双葉IC
- T いのまちめぐらし
- U おおくまーと
- V ほっと大熊
- W ふくしまの森
- X ひまわりの里
- Y まちなかの森
- Z まちなかの森



OKUMA PEOPLE

大熊町で活躍する人たち



いつか帰りたいと思っていた

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故を経験したのは、13才の時。いつか大熊に帰りたい。その想いが強く、大学卒業を機に入社しました。現在は、町民のコミュニティ形成支援や、大熊町産酒米で日本酒を造るプロジェクトなどの新事業育成などに携わっています。仕事を通じて思うのは、「大熊は様々なチャレンジができる町」という事。興味のある方は、ぜひ一度足を運んで頂きたいです。(佐藤真喜子さん / 一般社団法人おおくまちづくり公社 復興支援員)



都内から第二のふるさとへ



新しいことにチャレンジできる町

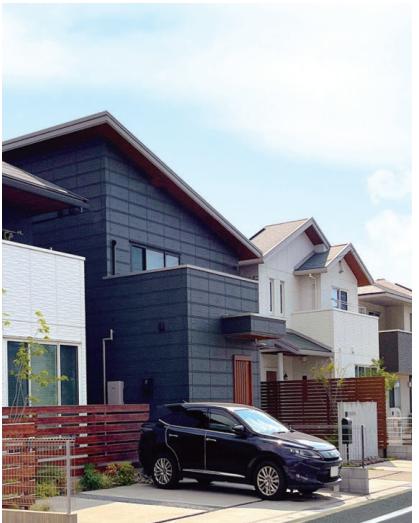
町の式典などをを行う多目的ホール・運動スタジオ・図書スペース等を備えた交流スペースで働いている事から、地域の様々な方と触れ合う機会を頂いています。私は神奈川県の出身で、妻が大熊町の出身という縁でこちらに移住したのですが、地域の方々の人柄や気候が穏やかで、とても暮らしやすいです。都内でシステムエンジニアとして働いていた頃よりも、圧倒的に身体の調子が良くなりました。(三枝恭さん / linkる大熊施設長)

ZERO CARBON TOWN

移住に関する補助制度

ゼロカーボン宣言の町 大熊

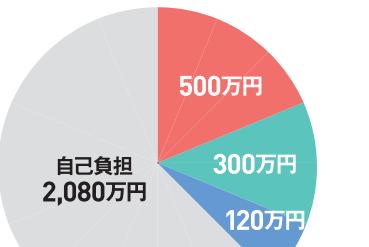
大熊町では原子力発電や化石エネルギーに頼らず、地域の再生可能エネルギーを活用した持続可能なまちづくりに取り組んでいます。未来を担う子どもたちが、誇りをもって語れる町を目指します。



住宅の購入

来ておおくま補助金
500万円

大熊町に転入し、自身で居住する住宅を取得する方への補助金。最大500万円が申請可能です。



ZEH住宅への支援

ZEH住宅を建築 県産材使用等の場合
300万円 + 120万円

ZEH基準への適合住宅である場合に、最大300万円の申請が可能となる補助金。さらに、①県産木材の使用②長期優良住宅認定③LCCM住宅認定等の合計で、最大120万円の補助金が申請できます。

(一例)3,000万円の住宅を新築する場合
住宅の購入に最大920万円を補助!

引越し費用補助

世帯構成や引越し元別に
最大20万円

県外から大熊町へ転入をした世帯へ、引越し費用として最大20万円の補助金が申請できます。



EV購入補助

次世代モビリティ導入補助金
50万円

町内の生活、または、事業用として新たにEV・PHVまたはFCVを導入する場合に申請ができる補助金です。



太陽光パネル導入補助金

最大出力(kw) ×
10万円

住民や事業者が、大熊町内の住宅に太陽光パネルを設置する際に申請ができる補助金です。



庭木への補助

対象経費の1/2
最大20万円

住民や事業者が、町内の自宅もしくは事務所に新たに植栽や庭木を設置する場合に申請ができる補助金です。



※2022年4月現在の情報です。補助金を申請するには各種要綱に定められた条件を満たす必要があります。詳細についてはご相談ください。

その他の手厚い支援

子育てに関する支援

18歳までの医療費が無料になるなど、様々な取り組みを行っています。



生活に関する支援

移住支援金200万円など、多様な支援・補助を行っております。



仕事に関する情報

町内の新産業や農業支援など、最新情報はこちらからご確認ください。



#okumagram

おおくま暮らしを切り取る

大熊町の暮らしの一部を切り取り、ご紹介します。大熊町は参加型のイベントや行事、おいしいグルメなどがあり、ほっと一息つける場所です。そんな大熊町のほっとスナップを集めました。

